



できる日は突然に

この文章を覚えていますか？ 昨年の「浦島伝説」第 13 号に掲載された、道徳資料「あとひとつ」（詫間中学校自主製作教材）から引用したものです。

からっぽで透き通っていない花瓶の中に、コップの水を毎日何杯も入れていくとします。その小さなコップの水は、君たちの努力を表しています。1杯、2杯、…。水の注がれる音だけが聞こえています。

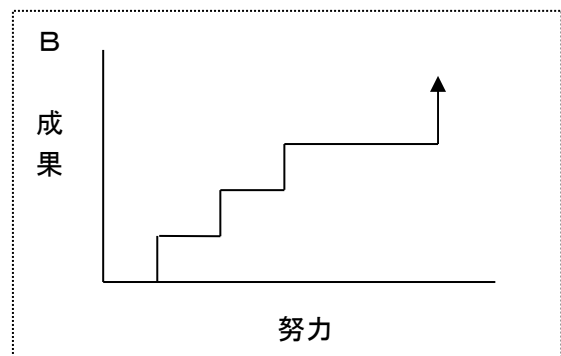
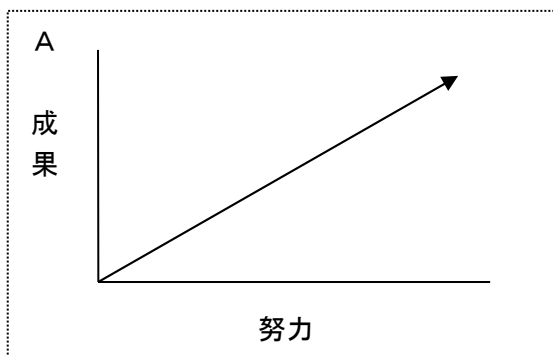
さて、この水が花瓶の中にたまっていく様子、努力の水がたまっていく様子は、まったくわからないし、見えません。しかし、毎日こつこつと努力の水を注ぎ続けると、ある日、突然、水はあふれ出してきます。つまり、努力した結果が目に見えてわかるようになる瞬間がやってきます。もし、花瓶のふちのところまで水が入っているのに、それに気づかず、「今まで一生懸命頑張ったつもりだけど、やっぱり無理だ」と、それ以上努力することをあきらめたら、どうなりますか。あと一杯の水を入れればあふれ出すのに、もったいないことです。

君たちの努力も同じです。目には見えませんが、必ず水はたまっています。あふれ出すまで、あきらめずに努力の水を入れ続けることが大切です。

これと同じようなことを、多くの人が語っています。「努力している間、自分の中にたまっている見えない力があるのだ、それが限界点までたまると、できるようになるのだ」

どうも、勉強や運動などが「できるようになる」というのは、体が少しずつ大きくなるのとは違い、ある日突然に「できるようになる」ようです。みなさんは、下の図 A のように、努力に比例して成果が徐々にあがっていくと思いませんか？ しかし、現実には図 B のように、「できない」、「できない」、「できない」・・・が続いていて、あるとき急に「できるようになる」のです。ただし、何もしないで突然に「できるようになる」のではなく、「できない」と思っていた間に続けた努力が見えないけれど力となって蓄えられ、あるときそれがあふれ出す。そのときに、「できるようになる」のです。

この「できない」期間、言い換えると成果が目に見えない・実感できない期間に、「自分はダメだ」と思い込んでしまい、努力をやめてしまうことが多いのです。実に、もったいないと思いませんか。



生徒総会

6月11日（水）に生徒総会が開かれました。今年度の生徒会スローガン「NO LIMIT ～明日は、きっと、できる～」のもと、予算や活動案などを話し合いました。みなさんから出された要望のうち、学校では次のことに早急に対応していきます。

- そうじ道具の増加
- 時計の修正
- 教室のカーテンのクリーニング
- 昼休みに使うバスケットボールとサッカーボールの購入

